

西多摩保健所感染症週報

東京都西多摩保健所
Tel 0428-22-6141

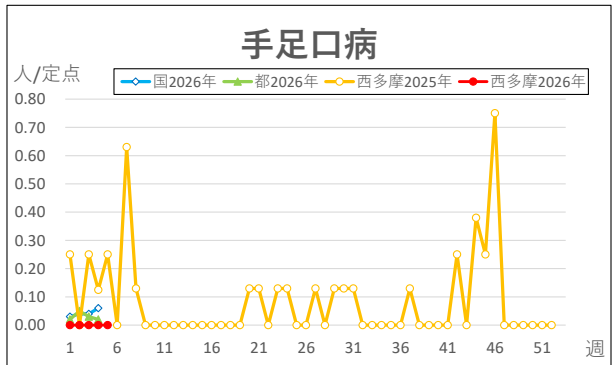
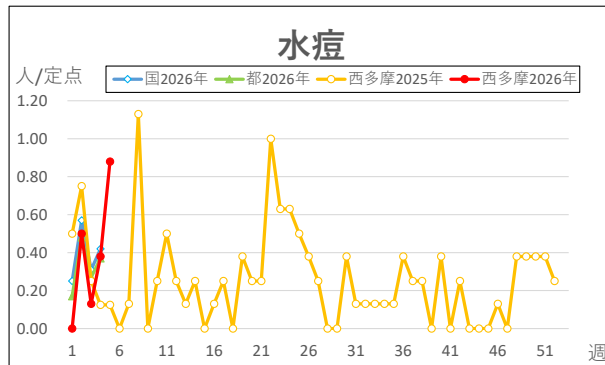
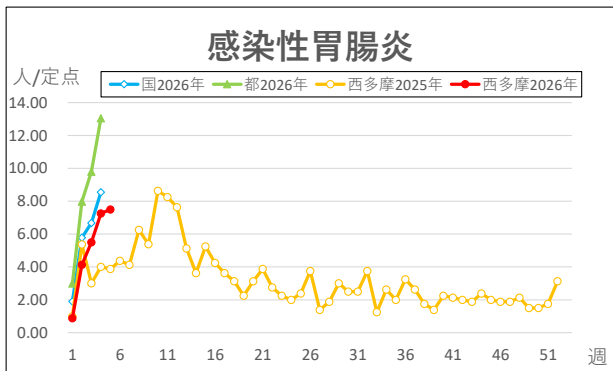
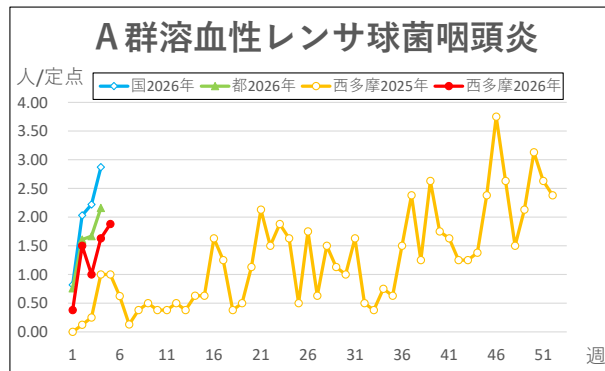
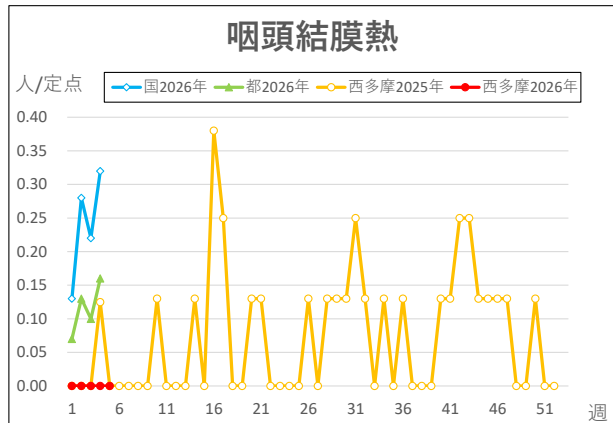
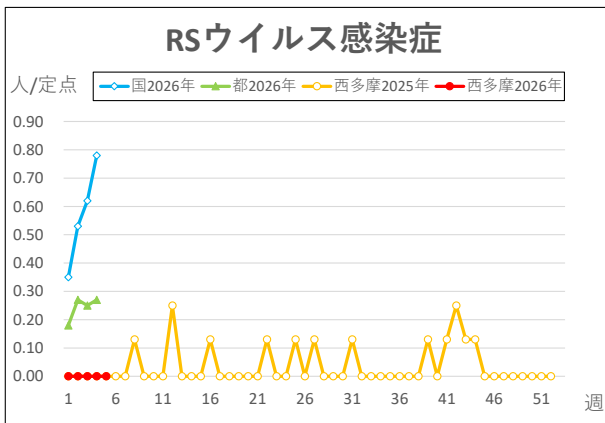
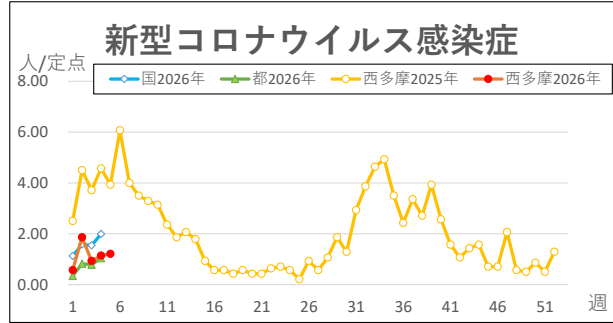
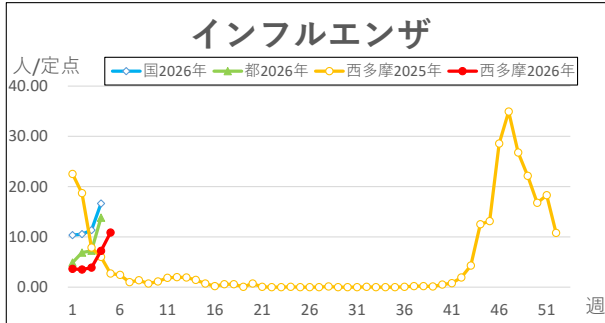


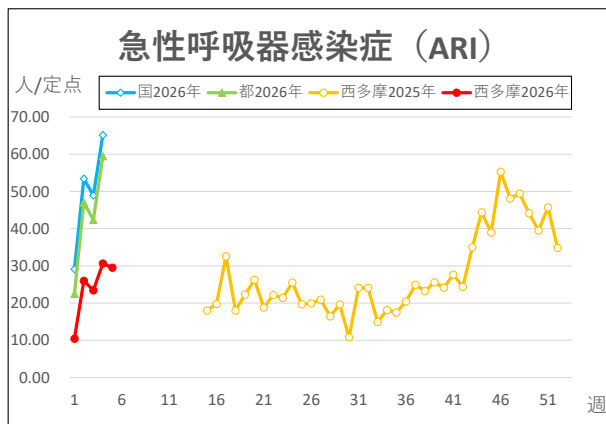
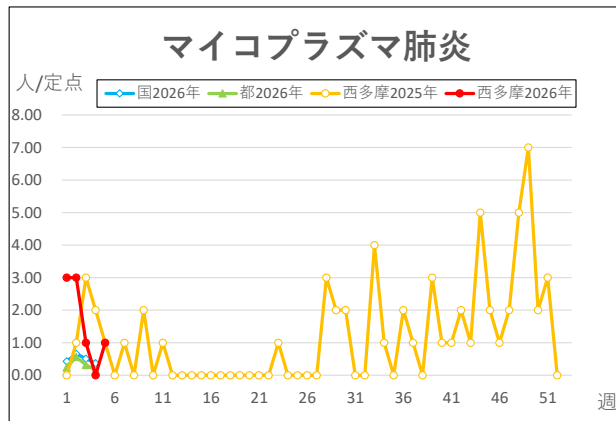
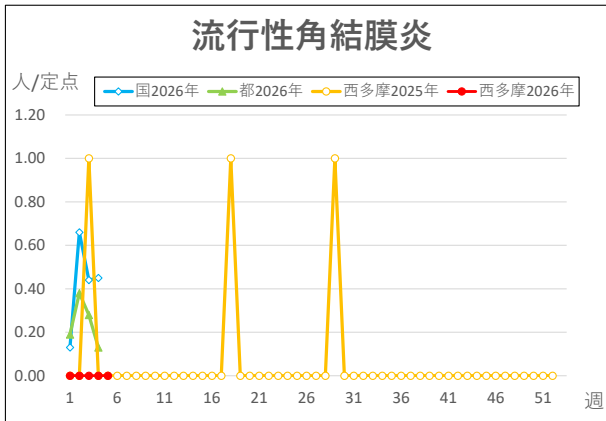
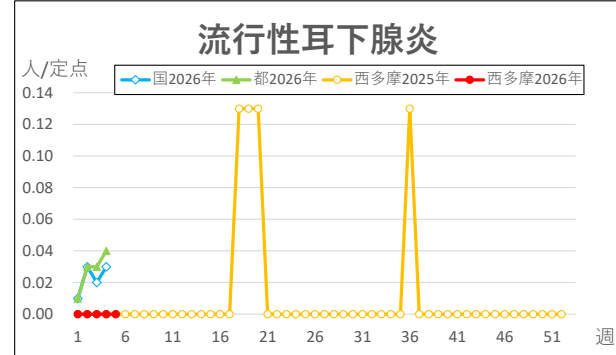
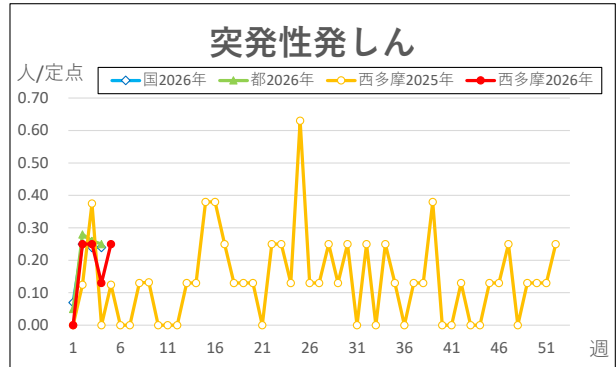
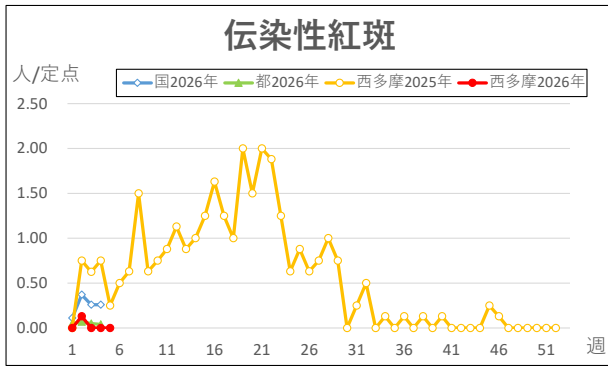
管内の発生動向及び定点把握対象疾患 () は内訳又は前週値

- ・全数届出の疾患は、報告がありませんでした。
- ・定点報告は、インフルエンザ10.86 (7.21)、新型コロナウイルス感染症1.21 (1.14)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎1.88 (1.63)、感染性胃腸炎7.50 (7.25)、水痘0.88 (0.38)、突発性発しん0.25 (0.13)、マイコプラズマ肺炎1.00 (0.00) で、前週より増加しています。

管内の感染症集団発生状況 () は内訳

- ・インフルエンザ2件 (障害者入所施設1件、保育園1件)、感染性胃腸炎2件 (高齢者入所施設1件、保育園1件) の報告がありました。





＊今週のトピックス＊

今年も流行しています！

～ 感染性胃腸炎 ～
どのような病気ですか？

2026年1月上旬頃より、個人のみならず、
集団感染の報告も増えてきています。



毎年、秋から冬にかけて流行します。細菌やウイルス等の病原体による感染症です。潜伏期間は1～3日程度です。当保健所管轄内の発生状況については前頁のグラフをご参照ください。

冬季発症の多くはウイルス性です。ウイルス性胃腸炎に多い病原体は、主にノロウイルス・ロタウイルス・サボウイルスなどで、その中でも特に感染力が強いのはノロウイルスです。

ノロウイルスによる胃腸炎は、主な症状は吐き気、下痢、発熱、腹痛で、小児では嘔吐、成人では下痢が多いです。有症状の期間は平均24～48時間です。ロタウイルスによる胃腸炎では、嘔吐、下痢、発熱がみられ、乳児ではけいれんを起こすこともあります。有症状の期間は5～6日です。

特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法が行われます。感染しても発症しない場合や、軽い風邪のような症状の場合もあります。

どのようにうつりますか？

病原体が付着した手で口に触れることによる感染（飛沫感染）と、汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）があります。

～感染予防のために家庭でできること～

① こまめな手洗い・消毒

調理、食事の前、トイレの後には、石けんと流水で十分に手洗いをしましょう。また、便や嘔吐物は使い捨て手袋、マスク等を着用して処理し、*次亜塩素酸ナトリウムで消毒しましょう。

② 食品の加熱・調理

食品を十分に加熱し、特に二枚貝などは中心部まで十分に加熱しましょう。野菜等の生鮮食品は水道水でよく洗いましょう。



東京都 「家庭でできるノロウイルス対策」

https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/pamphlet2/files/noro_tomin.pdf

東京都 「社会福祉施設等におけるノロウイルス対応標準マニュアル」

<https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/noro/files/nmd.pdf>



※『次亜塩素酸水』ではなく、『次亜塩素酸ナトリウム』です（平常時は次亜塩素酸水でも構いません）。

上記ノロウイルス対応標準マニュアルに、本体と水を混ぜる際の具体的な容量の記載がありますので、併せてご参照ください。



直近8週間の西多摩保健所管内定点医療機関報告数（定点当たり）

	50週	51週	52週	1週	2週	3週	4週	5週	1週目からの累計
インフルエンザ	235 (16.79)	256 (18.29)	151 (10.79)	51 (3.64)	49 (3.50)	54 (3.86)	101 (7.21)	152 (10.86)	407
新型コロナウイルス感染症	12 (0.86)	7 (0.50)	18 (1.29)	8 (0.57)	26 (1.86)	13 (0.93)	16 (1.14)	17 (1.21)	80
RSウイルス感染症	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0
咽頭結膜熱	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25 (3.13)	21 (2.63)	19 (2.38)	3 (0.38)	12 (1.50)	8 (1.00)	13 (1.63)	15 (1.88)	51
感染性胃腸炎	12 (1.50)	14 (1.75)	25 (3.13)	7 (0.88)	33 (4.13)	44 (5.50)	58 (7.25)	60 (7.50)	202
水痘（みずぼうそう）	3 (0.38)	3 (0.38)	2 (0.25)	0 (0.00)	4 (0.50)	1 (0.13)	3 (0.38)	7 (0.88)	15
手足口病	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0
伝染性紅斑	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1
突発性発しん	1 (0.13)	1 (0.13)	2 (0.25)	0 (0.00)	2 (0.25)	2 (0.25)	1 (0.13)	2 (0.25)	7
ヘルパンギーナ	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0
流行性角結膜炎	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0
マイコプラズマ肺炎	2 (2.00)	3 (3.00)	0 (0.00)	3 (3.00)	3 (3.00)	1 (1.00)	0 (0.00)	1 (1.00)	8
急性呼吸器感染症（ARI）	547 (39.07)	641 (45.79)	487 (34.79)	110 (7.86)	364 (26.00)	328 (23.43)	429 (30.64)	413 (29.50)	1,644

○グラフは、5類定点把握対象疾患についての推移を表しています。グラフ縦軸の目盛は定点あたりの患者報告数です。

○管内定点医療機関数は、小児科定点8、内科定点6、眼科定点1、基幹定点1となっています。

○毎週の患者報告数は、管内の定点医療機関から毎週月曜日に報告を受け、週報として木曜日に発行いたします。

○データの出典元は、下記のとおりです。国及び都のデータは1週間遅れで掲載しております。

〈出典〉東京都、西多摩保健所のデータ：東京都感染症情報センター <https://idsc.tmioph.metro.tokyo.lg.jp/>

国のデータ：国立健康危機管理研究機構（JIHS） <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>